

令和2年度 立川市立松中小学校 授業改善推進プラン 第3学年

	日常の学習の様子 ○成果 ●課題	目指す授業の改善計画
国語	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●意味が分かるように音読したり、文節をとらえて正確に音読することができるような指導が必要である。 ●語彙を増やしたり、漢字習得に向けての指導の工夫が必要である。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●話し方、聞き方の視点を意識しながら、自分の伝えたい内容を、はっきりと伝えることができるように指導法を改善する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どうやったら漢字を覚えられるかを考えて練習できるようになってきた。 ●書くことへの抵抗感を下げ日常的に書くことに慣れていくようにする指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み方の技術指導、間違えずに読むことに重点を置き、日常的に音読指導を行う。 ・対話や小グループでの話し合い活動を取り入れて、自分の考えを伝える場面や友達のことを聞く場面を多く設定する。 ・国語辞典を使う学習活動を日常化したり、読書活動の充実を図ったりする。 ・児童が取り組みやすい形でグループ日記を取り入れ、書く機会を多くとる。 ・漢字ミニテストを繰り返す行いととも再テストを工夫し学び方の指導を行う。
社会	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●校外学習の際の目的を明確にし、見通しをもち、見出しをまとめることができるようにすることが必要である。また、地域への理解と知識をもてるようにする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学区域や立川市の様子、地域の人々と自分たちの生活に関心をもち主体的に学習を進め、興味関心を持続できる身近な学習課題の設定が必要となる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の周りの店や畑などに関心を向けられるようになった。 ●自分の住んでいる地域に関心・意欲をもち、学習したことが生活に結び付くように、教材提示、授業展開を工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分たちの生活が社会とどう関わっているか」という視点で「工夫や願い」に気付くことができる出来事や写真を提示し、学習課題の設定を支援する。 ・めあてを明確にした導入を工夫し、学習活動を分かりやすくさせるとともに、補助教材を適切に用いる。 ・児童にとって身近な資料を用意し、地図の見方を理解し、地図を用いながら、生活と学習がつながっていることを実感させるようにする。 ・タブレット教材を活用し、視覚的にも理解を促す。 ・学習のまとめに、新聞を書くことで、学んだことの振り返りをしたり、理解を深めたりさせる。
算数	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●既習事項の定着のために、ミニ復習を継続的に取り入れる。 ●計算のきまりの指導を継続的にしていくことが必要である。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●相手に分かるように自分の考えを発表し伝えることができるように自分の考えを事前にノートに書くなど指導の工夫が必要である。 ●ノート記述の雛型などを提示し、見て分かりやすいノート記述ができるようになる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発展的な問題を解いてみたいという意欲を持つ児童が見られるようになった。 ●算数の問題を身近に感じ、意欲的に課題に取り組むことができるような態度を育てるための学習支援、学習活動を工夫していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長さ・時間・かさ・円・分数・演算決定などについては、日常的に指導を行うとともに、授業においては具体的な場面を課題として提示するようにする。演算決定の言葉に着目させる。 ・問題場面をイメージすることができるように場面図、テープ図で考えることができるようにする。 ・必要に応じて個別指導、補助ワークやカード、ヒントカードなどを使い、習熟に合わせて意欲的に学習を進めることができるようにする。 ・計算のきまりは数量単元ごとに確認し、継続的に計算練習をする。 ・朝学習や授業の導入、家庭学習などで継続的に既習事項計算プリントや東京ベーシック・ドリルに取り組ませる。
理科	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●実験の手順は「何のための実験か」を明確にし、実験道具の扱い方など初歩の知識を身に付けることができるようにする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予想、実験、結果、考察の流れをつかむようにする。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○昆虫や植物などの細かいところまで観察しようという意欲をもてるようになった。 ●観察や実験に対する意欲を継続し、思考につなげていくための工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを明確にし、予想を話し合ったり、実験結果から分かったことを自分の言葉で表したりする場面を作る。 ・実験の予想や結果が書きやすいように工夫したワークシートを使い、実験の結果をしっかりと記録したり、観察の視点を明示し観察カードにかいたりすることができるようにする。 ・おもちゃ作りの活動を通して学習したことを楽しみながら復習できる場面を多くする。
音楽	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●楽器の基本的な演奏方法を身につけて、意欲をもって課題に取り組むことができるような学習支援、学習活動を工夫していく必要がある。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他の人の音を聴きながら演奏し、合わせようという姿勢が見られるようになってきた。 ●曲想や音楽の諸要素を感じ取りながら音楽を鑑賞する姿勢を身につけていく必要がある。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●授業規律を守りながら意欲的に学習に取り組める環境を作る工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器を演奏する際の基本を確認・徹底し、進度に合った教材を使いながら確実に演奏できるようにする。 ・児童が学習の流れや振り返りができるようにワークシートを工夫する。 ・音楽室に音楽の諸要素や曲想に関する掲示を増やし、適切な言葉で自分の気持ちを表現できるようにする。 ・児童の習熟度に合わせた資料を作成し、達成感をもちながら課題に取り組めるようにする。
図工	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●材料や用具の正しく安全な使い方指導する必要がある。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○色や形の組み合わせの感じを直観的に捉えることができる。「楽しい感じを線で表す」等の感覚的な表現を得意とする児童が多い。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体全体の感覚を働かせ、のびのびと表現するなど、つくりだす喜びを味わいながら活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木切れ、くぎ、のこぎり、金づち、水彩絵の具などの基本的な扱いに慣れ、自分の表したいものが自分の力で表せる喜びを味わわせていく。 ・材料に触れあったり、用具に慣れたりする時間を大切に、色や形の組み合わせ、手触りなどの感じを捉え、イメージと関連させていく指導を行う。(形の柔らかさ、色の暖かさなど。) ・児童それぞれの表現方法、活動のよさを互いに認め合えるよう、相互鑑賞の時間を毎題材に設定する。
体育	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各種運動の特性やルールを理解して取り組んでいない。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チームゲームを通してルールや活動についての工夫を行うことができるようにするとともに、協力してゲームを進めていくためにどうするかを考える必要がある。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○休み時間も体育でできなかった技などを練習しようという意欲をもてるようになった。 ●児童が興味・関心・意欲をもって取り組むことができる指導方法、場の設定を工夫する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールや特性を理解しやすいように工夫する。 ・グループ活動を計画的に取り入れ、友達相互で認め合ったり、教え合ったりできるようにする。 ・チームゲームで学習カードを使用し1単位時間ごとのめあてをつくりや振り返りを行い主体的に活動することができるようにする。 ・チームゲームでは、児童の実態に合わせてルールを工夫し、安全に運動するためのきまりなどについて指導する。